

令和4年度 事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人 庄内地域産業振興センター

I 公益目的事業

1 企業経営力強化支援事業

1-1 経営サポート・新事業支援事業

(1) 経営実践セミナー等の開催

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、喫緊の経営課題解決に取り組む事業者及び新たに起業する事業者等に向け、集客・販路開拓や起業に関する実践的なセミナーを実施した。

1) 「よろず実践勉強会」(山形県よろず支援拠点との連携事業)

ービジネスの課題は学び・実践・共有で解決ー

- ・SNS徹底活用 <Instagram編>
- ・EC起業の基礎 <ネット通販編>

* (「4) 産業支援機関等連携推進の実施」に記載)

2) 「起業応援セミナー(実践スキルアップ編)」(全5回/夜間10時間)

ー夢を具体的な目標に! “起業する際に大切なポイント”を5回で学ぶセミナーー
プログラム

- ・起業アイディアをビジネスモデル・キャンバスで可視化する
- ・顧客を分析しビジネスモデル・キャンバスをアップデートする
- ・起業資金計画と経営に重要な数字を理解し経営目標を設定する
- ・マーケティングの基礎を理解し販促計画を設計する
- ・デジタルを活用した集客方法を理解する

<7月期>

- ・実施日: 令和4年7月15日、7月22日、8月2日、8月9日、8月18日
- ・講師: 庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・受講者: 10名 (延べ36名)

<10月期>

- ・実施日: 令和4年10月26日、11月2日、11月11日、11月18日、11月24日
- ・講師: 庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・受講者: 11名 (延べ47名)

<2月期>

- ・実施日: 令和5年2月3日、2月10日、2月22日、3月3日、3月9日
- ・講師: 庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
(資)そふと 代表 我孫子 勝広 氏
- ・受講者: 14名 (延べ55名)

3) 「中小企業の小さく始めるDX推進セミナー」

ー業務構築アプリ「kintone」で社内データをワンストップで共有ー

- ・実施日: 令和4年10月7日 (5.5時間)
- ・講師: サイボウズ認定オフィシャルパートナー (株)MOVED 代表取締役 渋谷 雄大 氏
- ・受講者: 6名

4) 産業支援機関等連携推進の実施

産業支援機関、金融機関等との連携により、それぞれの特徴を活かしたセミナー・相談会を共催し、企業支援を行った。

①「よろず実践勉強会」（山形県よろず支援拠点との共催）

ービジネスの課題は学び・実践・共有で解決！ー

【SNS徹底活用 <Instagram編>】

- ・実施日：令和4年7月1日、7月22日、8月18日、9月1日、9月13日
- ・講師：山形県よろず支援拠点コーディネーター 我孫子 勝広 氏
- ・受講者：24名（延べ88名）

【EC起業の基礎 <ネット通販編>】

- ・実施日：令和4年8月5日、9月6日、9月27日
- ・講師：山形県よろず支援拠点コーディネーター 我孫子 勝広 氏
- ・受講者：7名（延べ16名）

②「“Make”活用セミナー」（鶴岡信用金庫・山形県よろず支援拠点との共催）

ーアタラシイものや体験の応援購入プラットフォームー

- ・実施日：令和4年11月16日
- ・講師：株式会社マクアケ キュレーター本部 局長 松岡 宏治 氏
- ・参加者：30名
- ・個別相談：3名（社）

③「経営課題相談会」（鶴岡信用金庫との共催）

販路拡大、事業承継、補助金活用等の経営課題解決のため支援機関による個別相談会を行った。

- ・実施日：令和5年2月10日
- ・支援機関：山形県よろず支援拠点、山形県事業承継・引継ぎ支援センター、山形県発明協会、鶴岡商工会議所、出羽商工会、
- ・相談者(件数)：12社（16件）

5)「起業・ビジネス夜間相談会」

- ・実施日：令和4年8月～令和5年1月（月1回／6回開催）
- ・相談員：日本政策金融公庫 酒田支店（融資担当）
庄内産業振興センターインキュベーションマネージャー 小林 時男
- ・参加者：16名

6)「鶴岡イノベーションプログラム」実行委員会事務局業務

鶴岡圏域における”創造的起業家”の育成を目的に野村総合研究所が提供する「鶴岡イノベーションプログラム」の実行委員会事務局として、組織の立上げ、参加者公募等を行った。

- ・実施期間：令和4年10月～令和5年3月（8回のセッション実施）

(2) 改善指導アドバイザーによる製造業の生産改善相談・指導

1) ものづくり生産改善指導

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企業訪問によるヒアリング等は行わず、相談があった企業に対するアドバイス・指導を行った。

＊（「1-2(2) 起業・ビジネス相談室の運営・ものづくり革新支援」に記載）

(3) 地域企業による改善活動事例発表会の開催

「第14回私のかいぜん発表会」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン配信と参加者を限定した発表・交流会を開催した。

- ・実施日：令和4年11月8日～28日（発表動画のオンライン配信）
令和4年11月19日（発表・交流会）
- ・発表：地域企業6社（6チーム）による日頃のかいぜん事例の発表
- ・視聴数：58社 620名、アクセス数 2,794回

1-2 起業家育成施設入居事業者・創業予定者等への経営相談・助言

（1）起業家育成施設の入居状況（令和5年3月31日現在）

〔入居事業者〕 新規入居事業者 なし、退去事業者（使用期間満了） 2社

貸室		事業者名	代表者	業務内容
A	25 m ²	NPO 法人やまごや	平向 正包	保健・医療・福祉
B	15 m ²	fiKa(同) く～たも相談室	今泉 香奈子	障害福祉サービス
		鈴木司法書士事務所	鈴木 敦	司法書士
C	30 m ²	(同) d a n o	伊藤 大貴 難波 竜次	Web サイト制作・広告運用

起業家育成のため、インキュベーションマネージャーが日頃から入居事業者とコミュニケーションを図り、それぞれの課題に対し側面的な支援を行っている。

（2）起業・ビジネス相談室の運営

山形県よろず支援拠点と連携し、「創業・起業」「ものづくり革新」「Webビジネス」の各支援をはじめ、事業者の販路開拓・商品開発、新たな事業への挑戦などの経営課題に対し、相談・助言サービスや販路開拓・ビジネスプラン作成支援など、地域中小企業・小規模事業者の成長・発展をサポートした。

- ・起業・経営支援 具体的な事業構想を持ち、創業・起業をめざす方への支援
相談者数：48名、相談件数：96回
特定創業支援を行った事業者：10名
- ・ものづくり革新支援 生産現場の改善・品質向上を図ろうとしている製造業への支援
相談件数：1社、企業訪問：13社（36回）
研究開発プロジェクト＊：1件
＊（「3-2 成長型中小企業等研究開発支援事業」に記載）
- ・Webビジネス支援 EC等販路開拓、Web活用で集客や売上増をめざす企業等への支援
相談件数：1,537件（山形県よろず支援拠点庄内サテライト実績）

（3）コワーキングスペース鶴岡「エキイチ」の運営

当地域における起業の促進を目的に、起業家やクリエイター、フリーランス等のコミュニケーション・ネットワーク形成のオープンワークスペースとして、鶴岡市起業家育成施設内に開設したコワーキングスペースを運営し、起業家への育成・支援を行った。

- ・登録会員数：119名
- ・総利用回数：810回（登録会員等 724回、ドロップイン 86回）

1-3 企業間・産学交流連携促進事業

（1）「経営者フォーラム」の開催

経営者の相互交流による経営革新・取引連携の促進を目的に、「日本の経済動向から、

今、何がうまくいくのか。会社を牽引するリーダーに知っていただきたいこと」をテーマに実施した。

- ・実施日：令和4年11月17日
- ・テーマ：「デジタル時代の今、リーダーが学ぶべき帝王学」
- ・講師：(株)フィンクロス・デジタル 取締役 滑川 周平 氏
- ・受講者：35名

2 産業人材育成事業

2-1 ものづくり中核人材育成事業（鶴岡市産業ひとづくり支援事業）

（1）品質管理・生産改善研修の開催

品質の良い製品を安定的に生産するために有効な品質管理の手法や、生産管理、製造現場の改善等、生産性向上に関する講座を実施した。

①「品質管理基礎講座」

- ・実施日：令和4年7月15日（6時間）
- ・講師：QCサークル本部講師/指導員 石原 道明 氏
- ・受講者：17名

②「品質管理実践講座」

- ・実施日：令和4年8月26日（6時間）
- ・講師：QCサークル本部講師/指導員 石原 道明 氏
- ・受講者：7名

③「なぜなぜ分析・問題解決」

- ・実施日：令和4年9月13日（6時間）
- ・講師：生産改善アドバイザー 根岸 進 氏
- ・受講者：8名

④「改善魂のある職場づくり研修」

- ・実施日：令和4年10月25日（6時間）
- ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
- ・受講者：7名

⑤「ヒューマンエラー対策セミナー」

- ・実施日：令和4年11月24日（6時間）
- ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
- ・受講者：15名

⑥「5S推進研修」

- ・実施日：令和4年11月25日（6時間）
- ・講師：バリュー・プロダクツ 代表 三宮 直人 氏
- ・受講者：17名

⑦「段取り改善の進め方研修」

- ・実施日：令和4年11月29日（6時間）
- ・講師：生産改善アドバイザー 根岸 進 氏
- ・受講者：7名

2-2 職業能力開発講座事業（鶴岡市産業ひとづくり支援事業）

(1) 職業能力開発講座の開催

次世代の地域産業を支える人材の確保と育成を図り、地域における職業能力開発及び経営人材の開発を目的に、職業に必要な技術、技能および知識を習得するための各種の教育訓練や研修を実施した。

1) 階層別講座 (4 講座)

①「職場リーダー研修」

- ・実施日：令和4年7月6日・7日 全2回 (14時間)
- ・講師：ひと組織研究所 代表 田中 成子 氏
- ・受講者：18名

②「中堅社員研修」

- ・実施日：令和4年9月1日・2日 全2回 (14時間)
- ・講師：ひと組織研究所 代表 田中 成子 氏
- ・受講者：9名

③「管理者研修」

- ・実施日：令和4年10月4日・5日 全2回 (14時間)
- ・講師：(株)Five V a i 大坪 タカ 氏
- ・受講者：11名

④「若手社員ステップアップ研修」

- ・実施日：令和4年10月19日 (7時間)
- ・講師：ひと組織研究所 代表 田中 成子 氏
- ・受講者：14名

2) 職能別講座 (1 講座)

①「機械保全技能検定準備講座」

- ・実施日：令和4年10月28日・29日・12月3日 全3回 (18時間)
- ・講師：山形航空電子(株) 松井 朗 氏 (特級機械保全技能士)
- ・受講者：21名

3) ビジネス・スキルアップ講座 (11 講座)

①「データベース入門」

- ・実施日：令和4年6月6日～7月14日 全12回 (30時間)
- ・講師：(有)マルチソフト 代表取締役 工藤 良男 氏
- ・受講者：6名

②「接客・接遇ブラッシュアップ研修」

- ・実施日：令和4年6月22日 (7時間)
- ・講師：(株)日本マネジメント協会 秋葉 喜浩 氏
- ・受講者：17名

③「アサーティブ・コミュニケーション」

- ・実施日：令和4年7月14日 (7時間)
- ・講師：(株)日本マネジメント協会 芳賀 英和 氏
- ・受講者：8名

④「リーダーのためのレジリエンス研修」

- ・実施日：令和4年7月22日 (6時間)
- ・講師：(株)インソース 長澤 敦志 氏

- ・受講者：5名

⑤「OJT指導者研修」

- ・実施日：令和4年8月5日（7時間）
- ・講師：(株)日本マネジメント協会 會田 慶宏 氏
- ・受講者：22名

⑥「クリティカルシンキング研修」

- ・実施日：令和4年8月9日（6時間）
- ・講師：(株)インソース 永渕 貴史 氏
- ・受講者：16名

⑦「リーダーシップ強化セミナー」

- ・実施日：令和4年9月9日（7時間）
- ・講師：(一社)新潟県労働衛生医学協会 専務理事 大西 金吾 氏
- ・受講者：19名

⑧「EXCELマクロとVBAプログラミング」

- ・実施日：令和4年9月22日～11月7日 全12回（30時間）
- ・講師：(有)マルチソフト 代表取締役 工藤 良男 氏
- ・受講者：5名

⑨「ロジカル・コミュニケーション」

- ・実施日：令和4年10月14日（7時間）
- ・講師：(株)Five V a i 池田 絵里 氏
- ・受講者：12名

⑩「ヒューマンスキル研修」

- ・実施日：令和4年10月20日（7時間）
- ・講師：ひと組織研究所 代表 田中 成子 氏
- ・受講者：6名

⑪「行動経済学を活用した部下指導研修」

- ・実施日：令和4年12月2日（6時間）
- ・講師：(株)インソース 山田 節子 氏
- ・受講者：7名

(2) 企業研修助成事業

中小企業が主体的に行う人材育成の取り組みを支援し、地域における人材の育成と産業の活性化を目的に、鶴岡市内の中小企業が研修を実施するための経費の一部を助成した。

- ・助成事業者：(有)木村屋、(株)クアポリス温海

(3) 新社会人スタートセミナーの開催

4月就職予定の高校3年生を対象に、新しい職場への定着と早期離職防止をはかり、社会生活の基本知識、ビジネスマナー、基礎的職業能力、生活設計等を身につけるためのセミナーを開催した。また、就職活動を控えた高校2年生向けに職業観の醸成と地域企業に対する就職志向の向上を目的とした職業紹介セミナーを開催した。

1)「新社会人の基礎講座」

- ・実施日：1回目/令和5年2月13日午前、2回目/2月13日午後（各2.5時間）
- ・講師：(株)メルサ 専務取締役 鈴木 奈智子 氏（キャリアカウンセラー）
- ・受講者：1回目/65名、2回目/45名

- 2) 「コミュニケーション・スキルアップ講座」
 - ・実施日：1回目/令和5年2月14日午前、2回目/2月14日午後（各2.5時間）
 - ・講師：俳優・セミナー講師 今田 由美子 氏
 - ・受講者：1回目/49名、2回目/43名
- 3) 「製造・生産現場の基礎講座」
 - ・実施日：令和5年2月15日午前（2.5時間）
 - ・講師：庄内地域産業振興センター 人材育成・生産改善チーフマネージャー 蓬田 邦彦
 - ・受講者：62名
- 4) 「実践的ビジネス・接客マナー講座」
 - ・実施日：1回目/令和5年2月15日午後、2回目/2月16日午後（各2.5時間）
 - ・講師：(株)庄内銀行 接遇インストラクター 須佐 恵美 氏
 - ・受講者：1回目/27名、2回目/39名
- 5) 「しごとセミナー」
 - ・実施日：1回目/令和5年3月3日、2回目/3月13日（各2時間）
 - ・内容：高校2年生を対象とした職業説明会
ハローワーク鶴岡 職業講話ー高校生の就職をめぐる状況について
地元の6業種（福祉、建設、宿泊、販売、製造2）による“しごと講話”
 - ・受講者：1回目/63名、2回目/63名

3 産学共同研究等促進支援事業

3-1 バイオクラスター形成促進事業（山形県バイオクラスター形成促進事業）

（1）産学官共同研究コーディネート活動の実施

1）コーディネーター体制整備事業

慶應義塾大学先端生命科学研究所(慶應先端研)を中心とした学術研究機関、公設試験研究機関等の情報の収集や連携の強化に努め、県内企業を訪問してバイオ研究の成果や技術シーズを紹介するとともに、ヒアリングやアンケート調査により企業の課題やニーズの探索、新技術・新商品開発等の情報収集を行い、共同研究プロジェクト構築に向けたコーディネート活動を実施した。

- ・コーディネーター配置 2名
- ・訪問実績 県内企業 73社、大学・公設試等 17機関、行政・支援機関 43機関団体

2）先端バイオテクノロジー活用基盤強化事業

研究員を配置して慶應先端研の研究やバイオ技術事業化支援助成事業の一部について共同研究を支援する等、バイオ研究成果の活用をすすめる活動を実施した。

- ・研究員配置 3名
- ・研究支援 バイオ技術事業化支援事業に係る共同研究 9件
*（「3-1(3) 共同研究シーズ事業化支援事業」に記載）

（2）産学官研究交流会等の開催

バイオ研究成果を活用した産学官連携の取り組みを広く周知し、県内企業と研究機関との新たな共同研究プロジェクトの創出や県民の理解醸成等を目的にセミナーを開催した。

<やまがたバイオサイエンスセミナー>

- ・実施日：令和4年12月7日
- ・内容：○基調講演 「鶴岡サイエンスパークの最新情報」

- 慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝 氏
- 慶應先端研発バイオベンチャー企業の事業概要の紹介
- 「Contributing to sustainable well-being
～人類の持続可能なウェルビーイングに貢献する～」
- Spiber株式会社 共同創業者 取締役兼執行役 菅原潤一 氏
- 「フェルメクテス株式会社の設立とそのビジョン」
- フェルメクテス株式会社 代表取締役 大橋 由明 氏
- バイオクラスター形成促進事業における研究発表の紹介
- 「ブドウ品種”甲州”におけるフリー及びプレス果汁を用いた
ワイン発酵に伴う物質変化」
- (公財) 庄内地域産業振興センター
- バイオクラスター形成促進事業研究員 芦野 祐尋 氏
- 「メタボローム解析を活用した熟成リンゴ酢の開発」
- 有限会社 壽屋漬物道場 取締役 渡辺 暁史 氏
(オンラインでの発表)

- ・会 場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール
- ・参加者：129名（オンライン65名）

(3) 共同研究シーズ事業化支援事業

バイオ技術事業化促進事業

慶應先端研との共同研究や、その成果を活用して事業化等に取り組む県内企業等を対象に事業を公募し、研究開発事業費の一部を助成金交付により支援した。

- ・公募期間：令和3年11月15日～令和4年1月31日
- ・採択事業：9件、助成金総額 15,068千円

【シーズ探索型 採択4件】

	助成事業名	交付先	助成金額
①	メタボローム解析を活用した新規きのこと菌床の開発	農事組合法人 小国きんたけ工房(小国町)	503 千円
②	バラの品種別の香気成分分析とその蒸留精製条件の確立	(株)Rose Cheek (村山市)	958 千円
③	「メタボローム解析を活用した鶏肉加工品の開発」	(株)アイオイ (鮭川村)	446 千円
④	メタボローム解析による「庄内鴨」の高品質化と地域資源の飼料活用の可能性の探索	(有)三井農場 (鶴岡市)	492 千円

【事業化推進型 採択5件】

⑤	高精度な長鎖DNA 解読技術と AI 技術を統合した次世代型抗体創薬プラットフォームの開発	(株)MOLCURE (神奈川県)	4,400 千円
⑥	メタボローム解析による美味しい新たな牛肉加工品の開発	(株)なごみ農産 (天童市)	726 千円
⑦	メタボローム解析による鯨肉加工品の燻製加工技術の確立及びラインナップ拡充	(株)山形丸魚 (天童市)	1,910 千円
⑧	ユネスコ食文化創造都市鶴岡発のヘルスプロモーションプロジェクト	(株)カクギン (鶴岡市)	3,358 千円
⑨	高感度メタボローム解析システムのプロテオミクスへの展開と普及を目指した製品開発	インセムズテクノロジーズ(株) (鶴岡市)	2,275 千円

(4) がんメタボローム研究推進支援事業

メタボローム解析技術を活用したがんの研究を推進し、研究成果を活用した地域振興を図るため、国立がん研究センター及び慶應義塾大学先端生命科学研究所と連携して、国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室において、次の事業を実施した。

1) 事業推進体制

① がん地域医療研究連携協議会の開催

- ・開催日：令和5年3月17日
- ・会場：Web開催

2) 研究プロジェクトの推進

国立がん研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所、庄内地域産業振興センターの3者で共同研究契約を締結し、2つの研究チーム(研究員2名、研究補助員5名配置)において、がんに関するメタボローム解析を422検体行った。また、蓄積してある解析データのうち、221サンプルについて、代謝経路図や理解しやすい図表を作成しデータベース化を図った。

① 代謝物解析研究(チームリーダー：牧野嶋秀樹)

発がんを誘導する代謝産物やがん細胞に特有な代謝産物・代謝経路を明らかにし、有効な新規治療法や創薬の開発につながる研究を推進した。

② がん遺伝子産物解析研究(チームリーダー：横山明彦)

がんの発症に関わるMYCというタンパク質と代謝の関係性を明らかにし、白血病等の新たな創薬、診断法の開発を目指した。住友ファーマ(株)との共同研究で開発を進めている急性白血病治療薬の第1相・第2相の臨床試験を開始している。

3) 外部機関との共同研究

【継続】

① 住友ファーマ(株)(旧大日本住友製薬(株))(本社/大阪市)

- ・研究課題：抗がん剤の適用拡大に関する研究
- ・実施期間：平成31年3月1日～令和5年3月31日

② (一財)鶴岡市開発公社(鶴岡市)

- ・研究課題：がん細胞と刺胞動物における核酸代謝および脂質代謝の比較研究
- ・実施期間：令和元年7月1日～令和5年3月31日

③ 群馬大学大学院医学系研究科、重粒子線医学研究センター(前橋市)

- ・研究課題：メタボローム解析を用いる重粒子線の効果予測代謝マーカーの同定
- ・実施期間：令和3年2月1日～令和5年3月31日

④ 山形大学医学部(山形市)・鶴岡市立荘内病院

- ・研究課題：泌尿器に関する腫瘍の組織を用いた代謝解析と治療予後を予測する代謝バイオマーカー検索
- ・実施期間：令和3年4月1日～令和5年3月31日

⑤ 福井大学医学部内科学(福井市)

- ・研究課題：メタボローム解析を用いた腫瘍崩壊症候群関連代謝産物の分析と発症予測マーカーの同定
- ・実施期間：令和3年7月1日～令和5年3月31日

【新規】

① 慶應義塾大学医学部(東京都)

- ・研究課題：がん患者の栄養状態を改善する特別用途食品の研究開発
- ・実施期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日

② 櫛引農村工業農業協同組合連合会(鶴岡市)

- ・研究課題：がん患者の栄養状態を改善する特別用途食品の研究開発
- ・実施期間：令和4年7月1日～令和5年3月31日

【包括協定】

① 榊高研(東京都)

- ・目的：健康寿命の延伸を目指して、医療や健康づくり・特に細胞培養におけるコラーゲン担体の有効性をもとに、人材育成、地域連携等について、相互に協力し、双方の発展と充実に寄与する連携を推進する
- ・実施期間：令和3年11月1日～令和6年3月31日

4) 論文発表

① Journal of Natural Medicines

- ・掲載日：令和4年6月1日
- ・題目：Cinnamon bark extract suppresses metastatic dissemination of cancer cells through inhibition of glycolytic metabolism. (牧野嶋チーム)

② Blood

- ・掲載日：令和4年8月25日
- ・題目：Aberrant EVI1 splicing contributes to EVI1-rearranged leukemia. (横山チーム)

③ Nature Communications

- ・掲載日：令和4年8月30日
- ・題目：Multi-omics analysis defines highly refractory RAS burdened immature subgroup of infant acute lymphoblastic leukemia. (横山チーム)

④ Bio Protocol

- ・掲載日：令和4年10月5日
- ・題目：Gastrulation Screening to Identify Anti-metastasis Drugs in Zebrafish Embryos. (牧野嶋チーム)

⑤ Leukemia

- ・掲載日：令和4年10月14日
- ・題目：DDX41 coordinates RNA splicing and transcriptional elongation to prevent DNA replication stress in hematopoietic cells Leukemia. (横山チーム)

⑥ BBA-Molecular Cell Research

- ・掲載日：令和4年11月1日
- ・題目：Chromatin-remodeling factor BAZ1/ACF1 targets UV damage sites in an MLL1-dependent manner to facilitate nucleotide excision repair. (横山チーム)

⑦ Nature Communications

- ・掲載日：令和4年11月5日
- ・題目：RNA-Binding Proteins of KHDRBS and IGF2BP families control the Oncogenic Activity of MLL-AF4. (横山チーム)

⑧ Nature Communications

- ・掲載日：令和5年2月8日
- ・題目：MORF and MOZ acetyltransferases target unmethylated CpG islands through the winged helix domain. (横山チーム)

5) 学会発表

① 第8回がん代謝研究会

- ・会期：令和4年7月19～22日
 - ・演題：がんの核酸代謝制御機構とメタボローム解析(牧野嶋先生)
- ② 第16回メタボロームシンポジウム
- ・会期：令和4年9月14～16日
 - ・演題：乳がんにおけるプリン環の再利用経路と細胞外環境の重要性(成田研究補助員)
- ③ 第81回 日本癌学会学術総会
- ・会期：令和4年9月29日～10月1日
 - ・演題：Japanese Oral Sessions Drug resistance Chairperson: Hideki Makinoshima
- ④ 鶴岡カンファレンス2022
- ・会期：令和4年11月22～23日
 - ・演題：葉酸代謝拮抗薬の薬剤耐性化に関与する核酸代謝調節機構(牧野嶋先生)
- ⑤ 第27回造血器腫瘍研究会
- ・会期：令和5年1月19～20日
 - ・演題：AF10 fusion による白血球化のメカニズムと新規治療法(横山先生)
- ⑥ US-JAPAN hematology meeting 2023, Hawaii, US
- ・会期：令和5年2月22～24日
 - ・演題：Mechanisms of aberrant self-renewal of leukemia cells(横山先生)
- 6) がん地域医療体制・がん地域医療モデル構築に向けた取り組み
- ① がん診療連携協議会の設置
- 地域医療の向上など地域の多様な活性化を図るため、国立がん研究センター東病院と鶴岡市立荘内病院の関係者で組織するがん診療連携協議会を2022年10月1日に設置し、第1回会議を2022年10月28日に開催した。
- ② オンライン診療システムの実践と検証
- 令和2年11月から、東病院の専門医による「がん相談外来」を毎月1回行っており、令和5年3月末時点で延べ84名の患者さんに利用いただき、東病院へ8名の患者の紹介を行っている。また、2名の方がオンライン診療を受けている。
- ③ 遠隔アシスト手術の実践と検証
- 令和4年12月に第1例目となる「遠隔アシスト手術」を実施した。これは全国的にも先進的な取組であり、地方でより高度ながん手術を身体的負担や経済的負担を軽減させながら実施できるものとして期待されている。
- 7) 成果を活用した地域振興の推進
- ① 講演会の開催
- ・実施日：令和4年8月25日
 - ・会 場：グラントエルサン
 - ・テーマ：がんとクラゲの研究から生命について考察
 - ・講 師：東京理科大学生命医科学研究所長 落合淳志先生
 - ・参加者：57名
- ② 鶴岡がん研究シンポジウムの開催
- ・実施日：令和4年9月7日
 - ・会 場：鶴岡市先端研究産業支援センター
 - ・テーマ：医療を変革するがん研究最前線
 - ・講 師：国立がん研究センター研究所長 間野博行先生
国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 横山明彦先生
国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 牧野嶋秀樹先生

慶應義塾大学先端生命科学研究so特任准教授 村井純子先生
慶應義塾大学先端生命科学研究so特任講師 齊藤康弘先生

・参加者：29名

③ 鶴岡カンファレンスの2022(ハイブリッド方式)の開催

- ・実施日：令和4年11月22-23日
- ・会場：鶴岡市先端研究産業支援センター
- ・テーマ：メタボローム解析の臨床応用
- ・特別講演：厦門大学生命科学学院教授 Dr. Sheng Cai Lin
Memorial Sloan Kettering Cancer Center Dr. Phillip Wong
- ・研究発表：国内の研究者9名からが発表
- ・参加者：79名(県内36名、県外41名、海外2名)

8) 慶應先端研特別研修生の受入れ

平成29年度から慶應先端研特別研修生を受入れ、「将来、博士号をとって世界的な研究者になりたい」という大きな夢を持った高校生を全面的に支援。令和4年度は、鶴岡南高校2年生を受入れ、海洋生物におけるがんの発生機序等の研究について支援した。

※高校生バイオサミット(8月22~24日)で研究発表し農林水産大臣賞を受賞。

3-2 成長型中小企業等研究開発支援事業

中小企業等が大学等と連携し、事業化に向けた研究開発を国が支援する成長型中小企業等研究開発支援事業補助金を活用し、研究開発及び事業化を図る地域企業、研究機関と共同体を構成し、事業管理機関として研究開発の推進を支援した。

共同体：インセムズテクノロジーズ(株)、(株)飯塚製作所、慶應義塾大学

テーマ：統合シースレスキャピラリー電気泳動-質量分析システムの開発

研究内容：「質量分析装置との接続に特化したキャピラリー電気泳動システムの開発」の取り組みにおいて、オートサンプラー部、圧力印加部、駆動部の設計及びそれらを制御するソフトウェアの開発を行い、プロトタイプを完成させた。

研究期間：令和4年度~令和6年度

補助金額：10,514千円(令和4年度)

4 伝統工芸技術伝承・活用促進支援事業

4-1 伝統工芸技術保存事業

地域伝統工芸のひとつである「竹塗り漆器」の振興と技術伝承のため、鶴岡竹塗り同好会の研修活動を支援した。

4-2 鶴岡お菓子まつり共催事業

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

II 収益事業

1 施設管理運営事業

指定管理者として利用者の利便性と窓口サービスの向上等を心がけ、施設の効率的な管理運営を行った。

○庄内産業振興センター施設利用状況（マリカ西館：市民ホール等、マリカ東館：研修室等）

施設別 月別	マリカ西館				マリカ東館						合計
	ホール	大会議室	小会議室1	小会議室2	展示室	研修室1	研修室2	研修室3	研修室4	和室	
4月	2	1	0	0	2	2	3	2	11	0	23
5月	2	2	0	0	0	10	7	1	9	0	31
6月	3	4	3	0	4	16	11	2	14	0	57
7月	1	1	1	0	0	12	9	3	11	2	40
8月	1	2	0	0	1	11	16	3	8	0	42
9月	2	4	1	0	6	11	15	2	12	1	54
10月	4	4	3	0	5	18	14	3	15	1	67
11月	2	2	1	0	3	20	16	5	9	2	60
12月	1	0	0	0	2	12	8	3	14	3	43
1月	2	2	1	0	2	8	7	6	12	3	43
2月	2	3	2	0	4	14	7	5	15	8	60
3月	8	7	6	0	2	11	9	5	13	4	65
合計	30	32	18	0	31	145	122	40	143	24	585

Ⅲ 法人運営事業

1 理事会・評議員会の開催状況

公益財団法人庄内地域産業振興センター定款第19条及び第37条に基づき、理事長が招集又は決議事項を提案した理事会及び評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

- 1) 理事会
- | | | |
|------------|------|------------------------------------|
| 第1回定時理事会 | 議第1号 | 令和3年度 事業報告及び収支決算の承認について |
| 令和4年5月24日 | 議第2号 | 評議員会へ提出する理事候補者名簿について |
| 出席理事 6名 | 議第3号 | 令和4年度 定時評議員会の招集について |
| 出席監事 2名 | | |
| | | |
| 第2回定時理事会 | 議第1号 | 令和5年度 事業計画書及び収支予算書の承認について |
| 令和5年3月30日 | 議第2号 | 給与規程の一部改正について |
| 出席理事 7名 | 議第3号 | 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について |
| 出席監事 2名 | 議第4号 | 理事長の権限に属する事務の一部を常務理事に委任する規程の制定について |
| | 議第5号 | 常務理事の選定について |
| | | |
| 第1回臨時理事会 | 議第1号 | 令和4年度 収支補正予算書の承認について |
| 令和4年9月12日 | | |
| | | 決議の省略 |
| | | |
| 第2回臨時理事会 | 議第1号 | 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について |
| 令和4年11月30日 | | |
| | | 決議の省略 |

第3回臨時理事会 議第1号 評議員会へ提出する評議員候補者名簿について
令和5年2月8日
決議の省略

第4回臨時理事会 議第1号 評議員会へ提出する理事候補者名簿について
令和5年3月20日
決議の省略

2) 評議員会 定時評議員会 議第1号 令和3年度 事業報告について
令和4年6月28日 議第2号 令和3年度 収支決算の承認について
出席評議員 8名 議第3号 令和4年度 事業計画書及び収支予算書の報告について
出席理事 4名 議第4号 理事の選任について
出席監事 2名

第1回臨時評議員会 議第1号 理事の選任について
令和4年4月18日
決議の省略

第2回臨時評議員会 議第1号 評議員の選任について
令和4年12月23日
決議の省略

第3回臨時評議員会 議第1号 評議員の選任について
令和5年3月13日
決議の省略

第4回臨時評議員会 議第1号 理事の選任について
令和5年3月24日
決議の省略

3) 監事監査 令和4年5月16日 令和3年度 事業報告書・決算報告書の監査業務

2 評議員及び理事・監事の異動

<評議員>

・就任 令和4年12月 上野 雅史 (鶴岡商工会議所会頭)
令和5年 3月 阿部 知弘 (鶴岡市商工観光部長)
・辞任 令和4年11月 加藤 捷男 (前 鶴岡商工会議所会頭)
令和5年 1月 佐藤 正胤 (前 鶴岡市商工観光部長)

<理事>

・就任 令和4年 4月 池田 ゆり子 (出羽商工会事務局長)
令和4年 4月 近藤 司 (荘内銀行本店営業部長)
令和5年 3月 村上 良一 (鶴岡市建設部長)
・辞任 令和5年 3月 今野 昭博 (常務理事)

3 組織・職員体制（令和5年3月31日現在）

常勤役員(常務理事) 1名、職員 17名、人材派遣 2名 計 20名

<組織図>

